

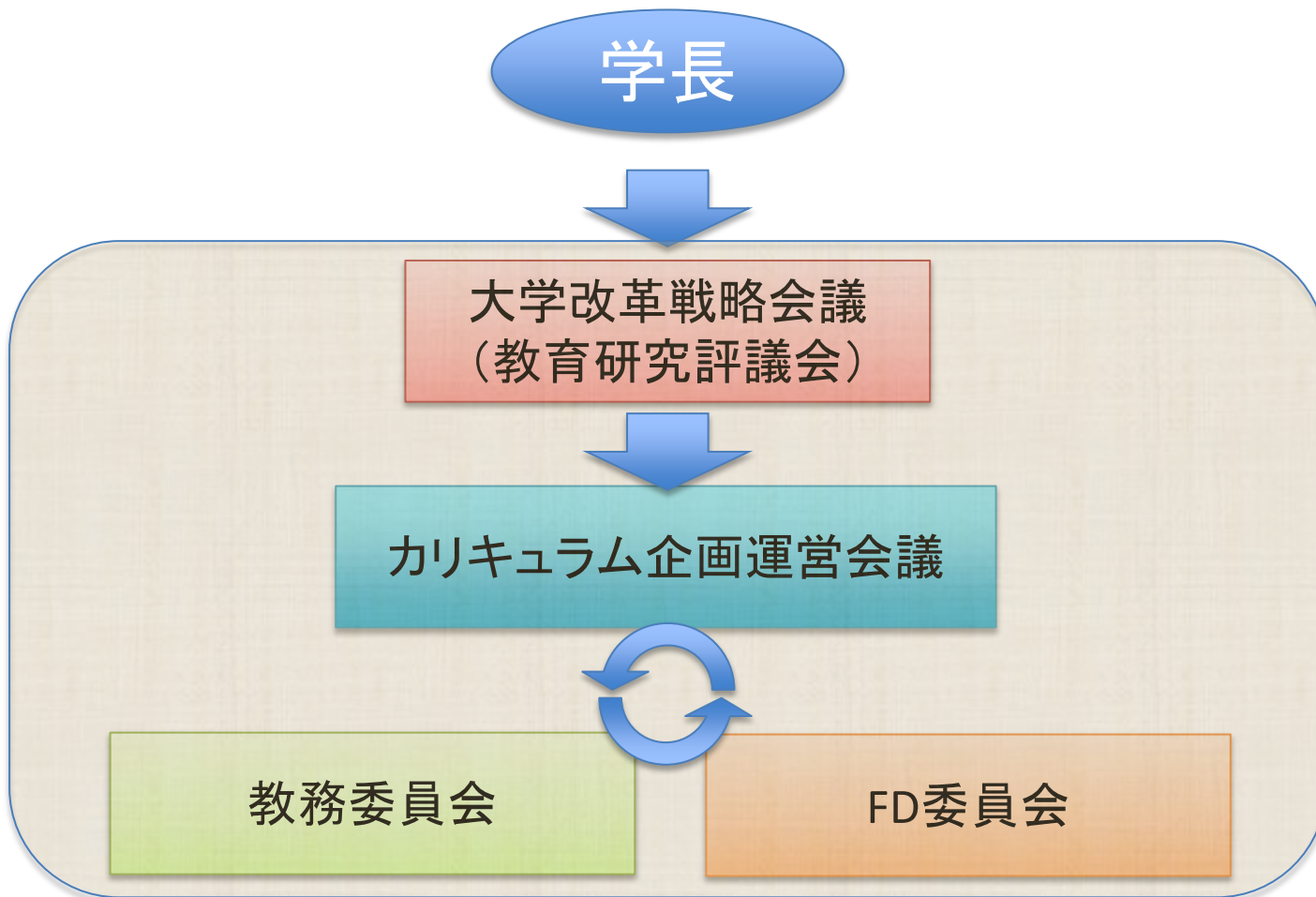
GIGAスクールに精通した教師力の
高い教員の養成を目指して
—ICT教育先進地域上越からの発信—



令和4年1月18日(火)

 上越教育大学

構想を実現・改善するための 教育組織体制



教師力向上のための従来の カリキュラムの充実と目標

養成項目 養成段階	ファシリテーターとしての教師	省察的実践を通じて学び続ける教師	教師・地域・専門家等と協働する教師
学部	主体的・対話的で深い学びを通して授業づくりの在り方を理解する	学校現場における実践を通して、主体的・対話的で深い学びの効果を理解する	教育実習を通じて子供理解を深め、地域等との関わりを理解する
教職大学院	主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業デザインの作成方法について理解を深める	学校現場における実践を通して、主体的・対話的で深い学びの効果の理解を深める	学校支援プロジェクトを通して家庭、地域、関係機関との関わりを理解を深める
現職教員	主体的・対話的で深い学びの実現を図り、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決する授業ができる	教科等の目標の実践に向けて PDCA サイクルを確立し、指導計画の改善を図ることができる	家庭、地域、関係機関との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行うことができる

教師力向上のための従来の カリキュラムとその充実

ファシリテーターとしての教師

- ・アクティブ・ラーニング(学部86.7%, 教職大学院95.9%実施)を授業時間の変更等により充実
- ・教職大学院共通科目『主体的・対話的で深い学びを実現する授業デザイン』開講
- ・ホワイトボード・ミーティング®の活用

省察的実践を通じて学び続ける教師

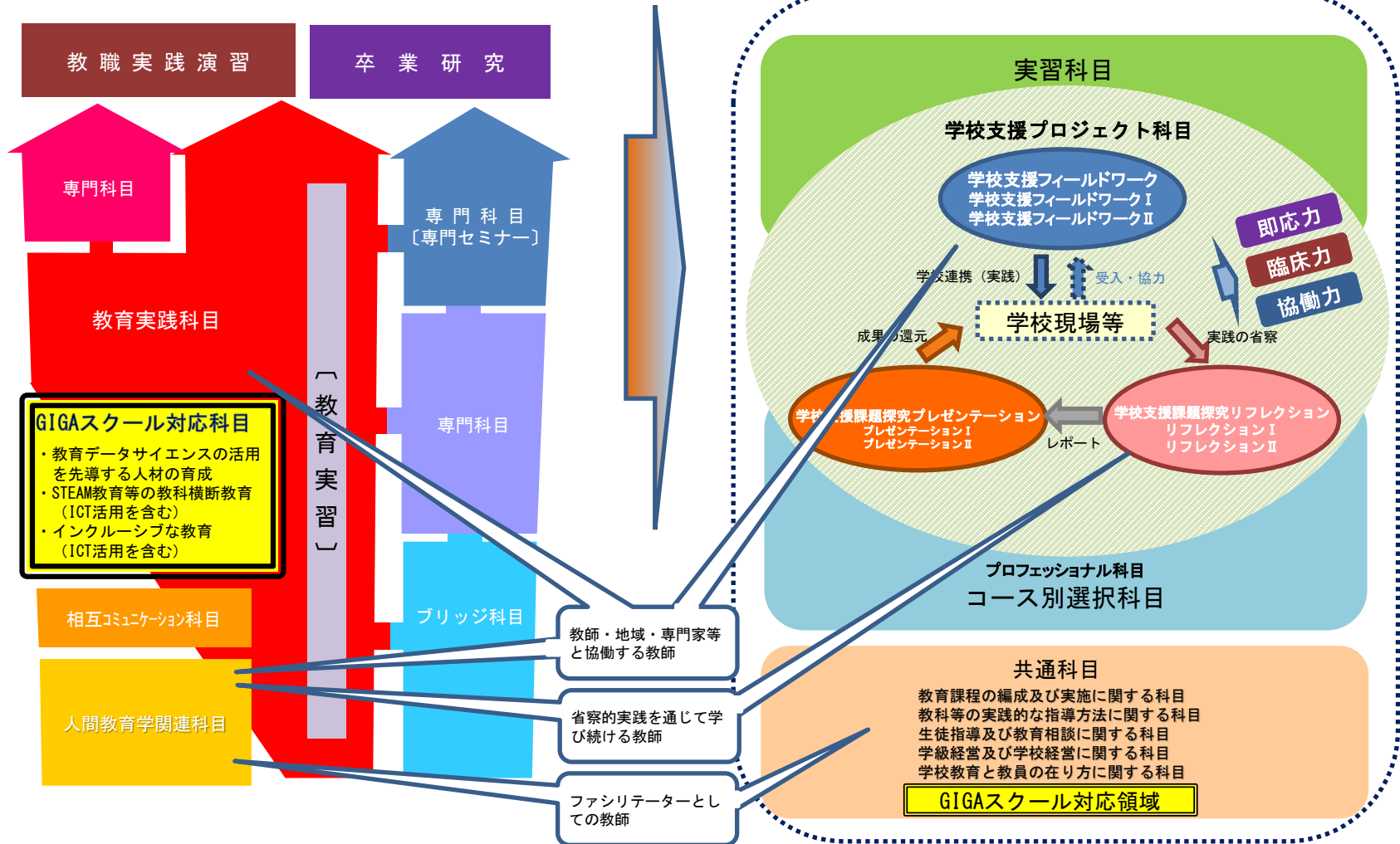
- ・学部の上越教育大学スタンダード(平成20年制定)の改訂
- ・教職大学院の新スタンダード作成(「教員育成指標に基づく評価書」による調査に基づく)

教師・地域・専門家等と協働する教師

- ・『教育実習』『学校支援プロジェクト』
- ・インクルーシブ教育の充実→『学校ボランティアA』の実施
- ・『ボランティア体験』『学びのひろば』

上越教育大学学校教育学部
GIGAスクールに精通した教員養成のためのカリキュラムツリー
＜令和4年度以降＞

上越教育大学大学院学校教育研究科専門職学位課程
GIGAスクールに精通した教員養成のためのカリキュラムツリー
＜令和4年度以降＞



先導的・革新的な教職科目の開発 (学部)

養成項目	ICT／教育データサイエンスに関する知識・技能
養成段階	
学部	教育に関する ICT 活用についての知識・技能に習熟し、データ活用の意義と基本的な統計に関する知識・技能を修得する
教職大学院	教育に関する ICT の活用及び、様々なデータを収集分析し、解決に向けた知見を見出すための知識・技能を修得する
現職教員	学校における ICT を効果的に活用するとともに、適切な方法で到達状況を評価し、評価結果を生かして業務を改善することができる

基礎となる科目

教育データサイエンスの活用を先導する 人材の育成

科目名	履修	単位数	教員免許種別
教育情報科学概論	1年次 必修	2	小・中免許*
プログラミング教育基礎演習	1年次 必修	1	小・中免許
ICT 活用実践演習	3年次 必修	2	小・中免許

*小免許＝小学校免許、中免許＝中学校免許

ICT活用実践演習

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 Society5.0時代の教育について～GIGAスクール構想を中心に～
- 第3回 附属学校における先進的な授業実践について
- 第4回 CSCLやAIを活用した授業
- 第5回 遠隔教育と情報モラル1 著作権法について
- 第6回 遠隔教育と情報モラル2 授業目的公衆送信保証金制度について
- 第7回 オンデマンド授業づくり
- 第8回 オンデマンド授業の評価と改善
- 第9回 遠隔授業とオンデマンド授業の現状と課題
- 第10回 遠隔授業づくり1 遠隔授業の設計と教材作成
- 第11回 遠隔授業づくり2 遠隔授業の指導案づくり
- 第12回 遠隔授業づくり3 遠隔授業の模擬授業による評価・改善
- 第13回 遠隔授業実践 教育実習校での実践
- 第14回 遠隔授業実践の振り返り
- 第15回 授業のまとめと課題

先導的・革新的な教職科目の開発 (学部)

養成項目	STEAM 教育等の教科横断教育 (ICT 活用を含む)
養成段階	
学部	STEAM 教育等の教科横断教育の意義を理解し、教科横断教育に必要な基礎的知識・技能を修得する
教職大学院	STEAM 教育等の教科横断教育のカリキュラム・マネジメントやSTEAM 教材開発の在り方について理解を深める
現職教員	教科教育の背後にある学術的な知見も踏まえ、STEAM 教育等の教科横断教育を実践し、PDCA サイクルを確立して、指導計画の改善を図ることができる

STEAM教育等の教科横断教育 (ICT活用を含む)

科目名	履修	単位数	教員免許種別
STEAM 教育基礎A～E (ICT 活用を含む)	必修	各1 (計5)	小免許
1年次			
STEAM 教育 (ICT 活用を含む) 1年次	必修	1	小免許
ICT を活用した教科横断教育A～K 4年次	選択必修	2	中免許

教科専門教員の88%が担当

先導的・革新的な教職科目の開発 (学部)

養成項目	インクルーシブな教育 (ICT活用を含む)
養成段階 学部	インクルーシブな教育にICTを活用する意義を理解し、個に応じた活用に関する基礎的知識・技能を修得する
教職大学院	個々の実態に応じてICT機器等を活用し、教科等におけるインクルーシブな授業開発のための知識・技能を修得する
現職教員	他職種等と連携し、個々の実態に応じたICT機器等を選定・活用し、教科等におけるインクルーシブな授業開発のための知識・技能を高める

インクルーシブな教育 (ICT活用を含む)

科目名	履修	単位数	教員免許種別
ICTを活用した通級による指導(自立活動)の授業デザイン 1年次	必修	2	小・中免許

必修科目『学校ボランティアA』の基礎科目

特別支援教育教員と技術科教員の協働

「教師の専門職化フォーラム」、WheeLogとの連携による講演会等、学会等で成果を発表
⇒全国に発信、プラットフォームの形成

ICTを活用した通級による指導 (自立活動)の授業デザイン

- 第1回 インクルーシブなまちづくり(福祉・工学・学校教育との連携)
- 第2回 **インクルーシブなまちづくりとICTの活用**
- 第3回 **障害のある人々の暮らしとICT**
- 第4回 教科等を学ぶ主体としての「個」を理解する視点「特別支援教育における自立活動」
- 第5回 通級による指導における個別の指導計画
- 第6回 障害のある子どもに対するプログラミング教育
- 第7回 **障害特性に応じたデジタル機器の活用とインクルーシブ教育論**
- 第8回 **通級による指導におけるICT活用と授業づくり**
- 第9回 通常の学級の一斉指導における個に応じた学習を支えるICT活用と授業づくり
- 第10回 **個に応じた学びを支える教材(Assistive Technologyの考え方)**
- 第11回 個に応じた学びを支える教材の製作(計画)
- 第12回 個に応じた学びを支える教材の製作(製作)
- 第13回 通級による指導の学習指導案の構想(一斉指導における個に応じた支援)
- 第14回 通級による指導の学習指導案の構想(一斉指導における個に応じた学びの評価)
- 第15回 まとめ:ICTを活用した通級による指導(自立活動)の授業デザインに求められる力量

先導的・革新的な教職科目の開発 (教職大学院共通科目)

領域 \ 事項	科目名	履修	単位数
教育課程の編成及び実施に関する領域	Society5.0 における教育課程の編成と実践	必修	2
教科等の実践的な指導法に関する領域	主体的・対話的で深い学びを実践する授業デザイン	必修	2
生徒指導及び教育相談に関する領域	生徒指導の理論と実践	必修	2
学級経営及び加工経営に関する領域	学級・学校の集団力学と経営実践	必修	2
学校教育と教員の在り方に関する領域	SDGs 時代の学校教育と教員の在り方	必修	2
GIGA スクール対応領域 (新設)	ICT を活用した教育・情報教育デザイン	必修	2
	教科等の横断と実践開発	必修	2
	ICT を活用した通級による指導(自立活動) の授業デザインの理論と実践	必修	2

NPO法人・民間企業との連携

LINEみらい財団

「ICT活用実践演習」授業支援

(株)デジタルアライアンス

Edutabの開発・利用

ユーレカ工房

プログラミング教育

(株)ひとまち

ファシリテーション教育

NPO法人授業づくりネットワーク

今日的な教育課題の対応

NPO法人上越地域活性化機構

障害児へのプログラミング教育

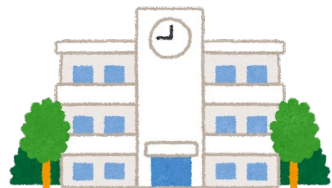
一般社団法人WheeLog

インクルーシブな教育の授業支援

上越教育大学教員養成フラッグシップ大学 コンソーシアム(仮称)

★連携協定あり

上越教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム(仮称)



大学

兵庫教育大学

東京学芸大学

★ 信州大学

★ 都留文科大学



NPO法人・民間企業

LINEみらい財団

★ (株)デジタルアライアンス

ユーレカ工房

★ (株)ひとまち

★ NPO法人授業づくりネットワーク

NPO法人上越地域活性化機構

★ 一般社団法人WheeLog



上越教育大学

教育実践に際しての支援・協力

教育委員会
・小中学校



★ 上越地域教育委員会

★ 学校実習コンソーシアム上越

新潟県教育委員会、新潟市教育委員会

成果の発信・普及(還元)



大学

★ 55連携協定大学等

同窓会

本事業の経費について

費用内訳

- ICT環境整備費
- ポータルサイト構築費
- 出版物印刷費 ← 出版会印刷経費
- 講演会経費、各種謝金
- 研究支援経費 ← 研究プロジェクト経費

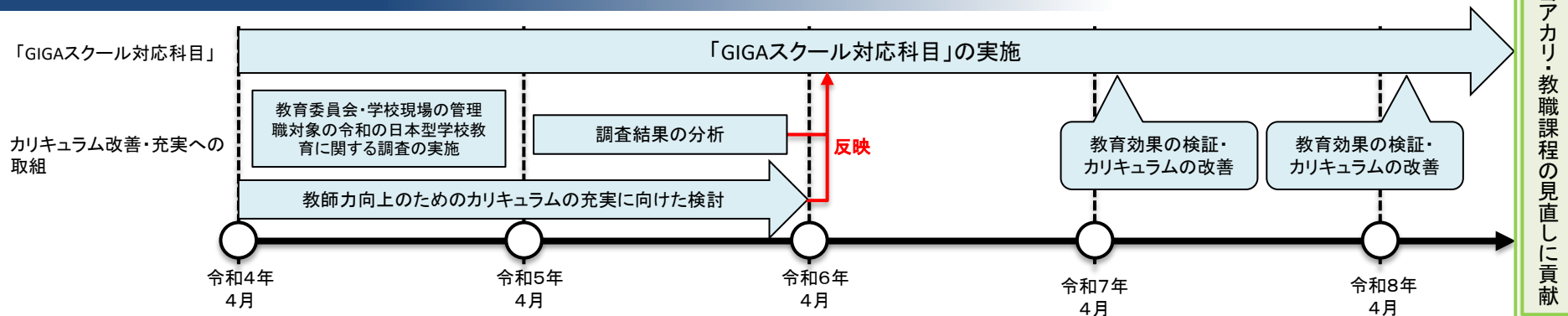


学長裁量経費

教員養成フラッグシップ大学構想の進め方

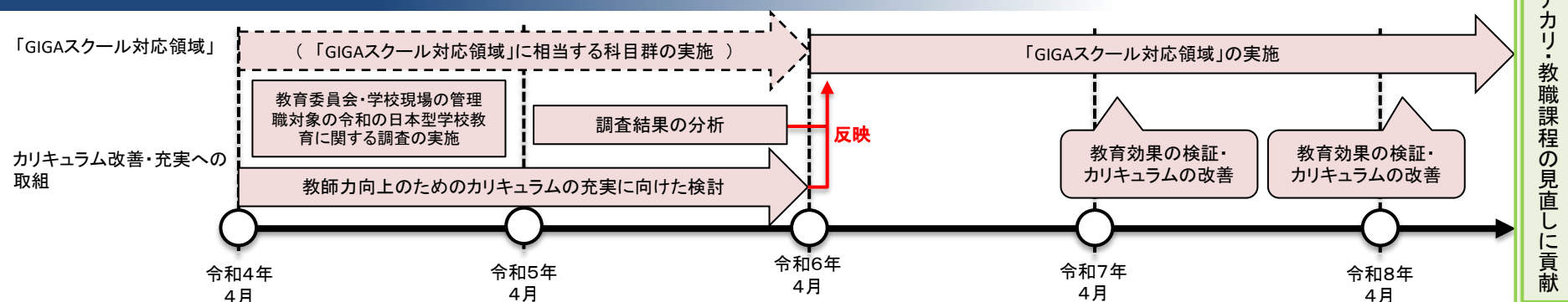
(1) 学校教育学部におけるカリキュラム

スケジュール



(2) 教職大学院におけるカリキュラム

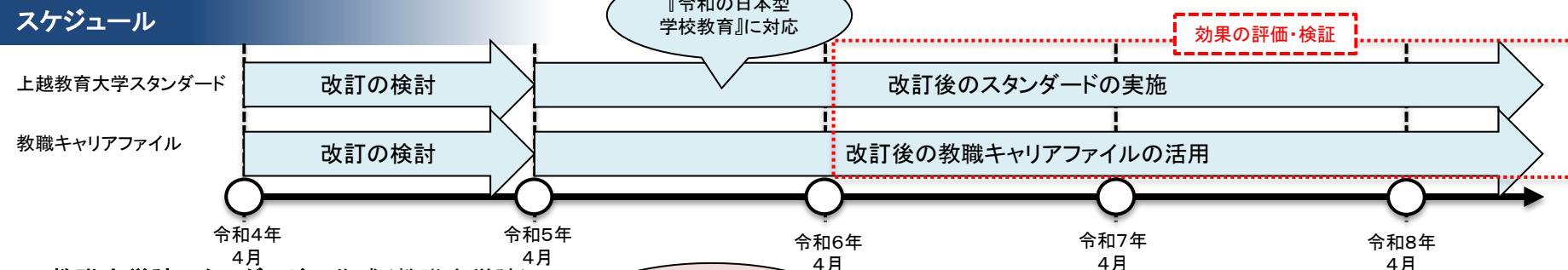
スケジュール



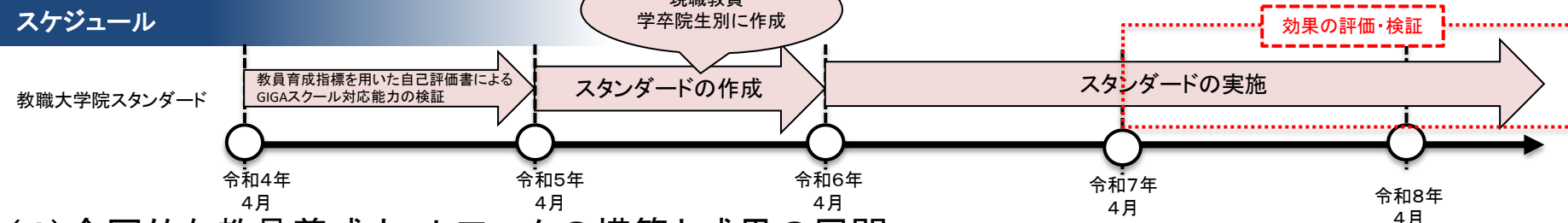
教員養成フラッグシップ大学構想の進め方

(3) スタンドールの作成・改訂等

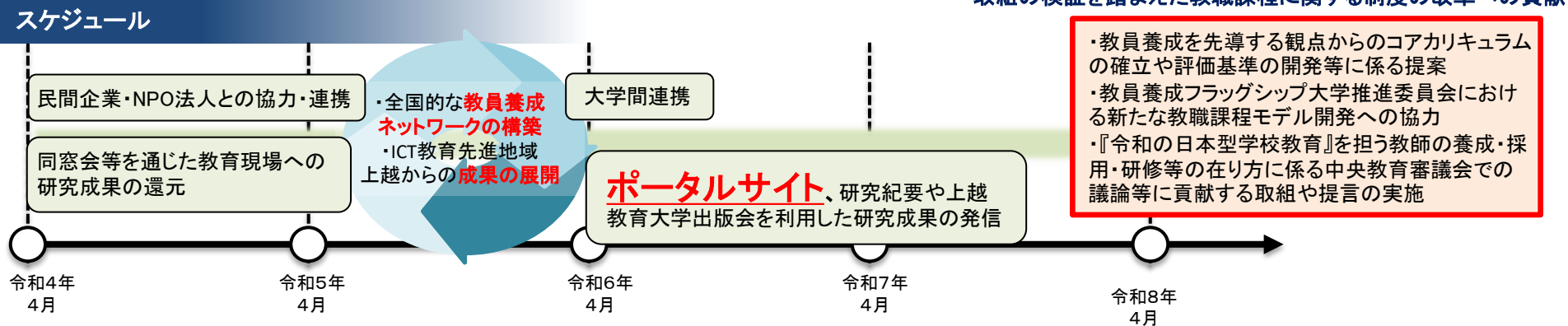
＜上越教育大学スタンダードの改訂等(学校教育学部)＞



＜教職大学院スタンダードの作成(教職大学院)＞



(4) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開



GIGAスクールに精通した教師力の高い教員の養成を目指して —ICT教育先進地域上越からの発信—

○先導的・革新的な教職科目の開発 教員養成フラッグシップ大学として弾力的なカリキュラムを編成

学部【GIGAスクール対応科目】

- ・ICT教育/学校現場における教育データサイエンス活用
(教育実習協力校等との連携, 情報モラルを加味した遠隔授業の構想と実践)
- ・STEAM教育等の教科横断教育 (ICT活用)
(多くの教科専門の教員が担当)
- ・インクルーシブな教育 (ICT活用)
(特別支援教育関係の教員と技術科教員とが連携)

「教科及び教職
に関する科目」
の特例措置

教職大学院【GIGAスクール対応領域】

- ・ICTを活用した教育・情報教育デザイン
- ・教科等の横断と実践開発
- ・ICTを活用した通級による指導(自立活動)の
授業デザインの理論と実践

共通科目5領域
必修単位数の
弾力措置

育成指標に基づくスタンダード/『令和の日本型学校教育』を担う教員の養成

○全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開 他機関との連携を推進するとともに成果を広く展開

民間企業・NPO法人との協力・連携

- ・これまで連携してきた民間企業, NPO法人等との共同研究をより加速
(連携機関)
- ・LINEみらい財団 ・(株)デジタルアライアンス ・ユーレカ工房
- ・NPO法人上越地域活性化機構 ・一般社団法人Wheelog
- ・NPO法人授業づくりネットワーク ・(株)ひとまち

大学間連携

- ・大学間連携により先導的・革新的な教職科目の授業の内容や成果等を共有
(連携大学)
- ・兵庫教育大学 ・東京学芸大学 ・信州大学 ・都留文科大学
- ・教職課程を設置している複数の連携協定締結大学に成果を展開

研究紀要や上越教育大学出版会を利用した研究成果の発信

- ・ポータルサイトを新設
- ・上越教育大学研究紀要や上越教育大学教職大学院研究紀要への掲載論文等を上越教育大学リポジトリの活用により全国的に発信し, 研究成果を展開
- ・第4期中期目標期間中に, 現代的教育課題の研究を含む「教員養成学」に関する書籍を刊行

全国的な教員養成
ネットワークの構築
ICT教育先進地域
上越からの成果の展開

同窓会等を通じた教育現場への研究成果の還元

- ・「上越教育大学同窓会」等のネットワークを用いて研究成果の還元を行い, 学び続ける教師の支援
(取組例) ・上越教育大学サテライト講座及び学内に拠点を置く
学会等で研究成果を展開
- ・同窓会組織と連携し, 研究成果を展開

取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改革への貢献